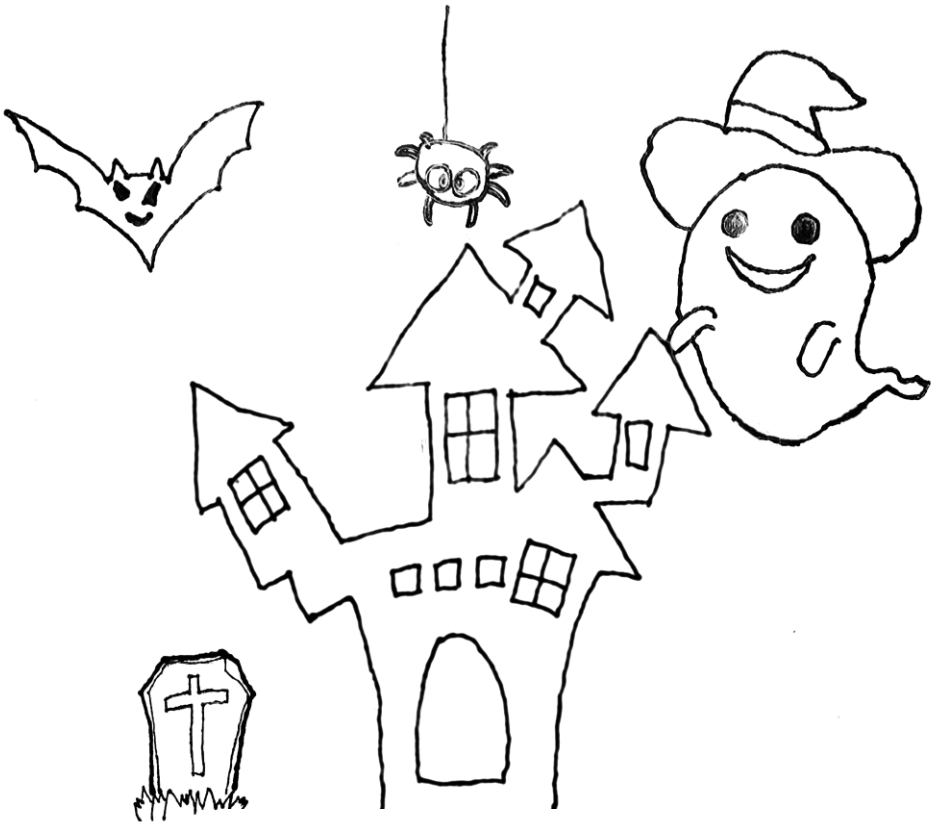
上田地域もの･こと交換制度
蚕都くらぶ

ま～ゆ

蚕都くらぶ･ま～ゆ会報 **No.117** 2019年10月20日発行



わたしたちの願い

蚕都くらぶ･ま～ゆという上田地域通貨モノコト交換制度は、地域で暮らすひとびとがお互いに助け合って楽しく暮らすための制度です。

私たちは、この地域の豊かな自然やひとびとの知恵･技術･経験･人柄を地域の宝と考えます。その宝を活用することで、より豊かな地域と人間関係を目指しています。

蚕都くらぶ･ま～ゆは、地域通貨を使って人と地域をつなぐシステムです。

- ❖ 人と人との新しい関係が生まれます。
- ❖ 自分の能力を再発見できます。
- ❖ 人が活き活きすることで、地域が元気になります。

ま～ゆドキュメンタリー制作にあたって　9/20

ま～ゆドキュメンタリープロジェクト（ま～ゆチーム）**安井啓子**

みなさんに、ま～ゆ市や廿日市など機会あるごとにお知らせやお願いをしてきました「ま～ゆドキュメンタリー」制作が、ま～ゆドキュメンタリープロジェクト（ま～ゆチーム）と専門家（監督・プロデューサー、編集者）、千葉大学工学研究科デザイン文化計画研究室の三者が連携して『ま～ゆドキュメンタリー制作委員会』として9月に正式にスタートすることになりました。

＜はじめの一歩＞

“ドキュメンタリー映画を作ろう„などと大それたことを考えたきっかけは、蚕都くらぶ・ま～ゆが再来年20周年を迎えるからです。

何か記念になるようなものをと考えていた時にふと頭に浮かんだのが、ま～ゆのイベントに度々通って来てはビデオカメラを回している孟さんたちの姿でした。そうだ！「ま～ゆドキュメンタリー映画を作ったらどうだろう…」と、妄想が湧いてきました。（映画作りの実態も知らないのに）

全国に数ある地域通貨団体の中で、蚕都くらぶ・ま～ゆのどこに魅力を感じるのか？その魅力をさらに発展させていくには何が必要か？これから地域通貨はどこに向かうのか？などを、ま～ゆ以外の人たち(今回は千葉大学大学院生の孟さんや学生さんたち)の視点を加えながら検証し映像に残したいというのが、そもそものはじめの一歩でした。

＜人のつながりが構想を深化させる＞

しかし、孟さんと一緒にいろいろ試行錯誤をしながら取材や撮影を進めていくうちに構想がどんどん広がってきました。さらに総合企画とプロデューサーを引き受けていただく小川孝雄さん（岡山市民映画祭主宰・映画監督・岡山まちづくりアドヴァイザー）との出会いは、映画の内容を想像以上に深化させるものになりました。

この映画製作プロジェクトは、蚕都くらぶ・ま～ゆの「今」を記録するにとどまらず、地域通貨や住民主体の地域づくりを研究している孟さんたち研究者の視点、また専門家の意見や全国で地域通貨を活用した地域づくりを進めている人たちの事例なども織り込みながら、ま～ゆのこれからを、私たちの暮らしのありようを、さらには地域経済も含めて社会の未来をデザインするきっかけにできれば…と、夢がどんどん膨らんできています。

＜大事な資金集めも財産になるかも＞

そうなると、映画製作に関する資金も可成り必要になってきます。できるだけ多方面（上田市や市内の企業の協力も）からの資金援助で財政を賄っていきたいと（「捕らぬ狸」的妄想？）考えています。これまであまりご縁の無かった企業や市民のみなさんとのつながりをつくる一歩になるかもしれません。もちろん、ま～ゆのみなさんからのご寄付もお願いしたいです。

資金援助にとどまらず、たくさんの人たちの参加で映画作りを進めていくことも、ま～ゆのチャレンジと位置付けています。これまでにも撮影やインタビュー、スタッフの宿泊、送迎など、さまざまにご協力いただいたみなさん、本当にありがとうございます。

映画の完成は来年 2020 年の 9 月をめざしています。来年 11 月のま～ゆ総会には、みなさんにお披露目できるようにと孟監督はじめスタッフ一同頑張っています。

ドキュメンタリー映画制作の成功に向けて、ま～ゆのみなさんには、ご寄付をはじめ、物心両面のご協力をいただきながら進めていきたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いします。

はつかいち
廿日市だより
8月20日

そうめん流しと今日は一日ま～ゆ楽校

1 時間目は、かっとまん先生による社会科「役に立たない海外知識」。上田市のインターン生 3 名も参加し、皆さん真剣に聞いていました。

2 時間目は、ますみ先生による家庭科「そうめん・天ぷら・即席漬け作り」をみんなで準備し、給食の時間に流しそうめんにしていただきました。夏休みで遊びに来ていた子供たちも大喜び。

3 時間目は、ミーすけ先生の理科「眠くなるシダの話」。さまざまなシダを実際に見ながら特徴を教えてもらいました。シダって美しい!

4 時間目は都々平校長の国語「日本語がおもしろい」回文など日本語のおもしろさを味わいました。

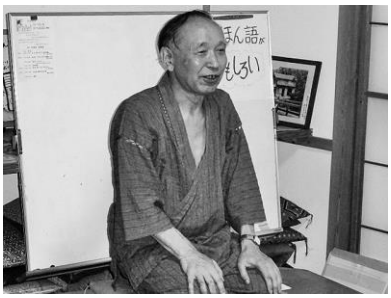
自分の知らない世界を学べて、楽しく賢くなった⁉廿日市でした。

1時間目＝かっとまん先生

失敗談を話そうと考えていましたが、インターンシップの学生 3 名が参加されたので、海外での経験から「規則違反をしない限り、上司にたてついても首にはならんから納得できないことには妥協するな」と伝えました。

3時間目＝ミーすけ先生

私がシダを好きになったのは、名前が面白かったからです。ヘビノネゴザ、ヤマイヌワラビ、シシガシラ、イヌガンソク、なんて変な名前でしょう。こんなおかしな名前のあるシダを皆さんに知っていただきたいと思いました。取ってもとっても生えてくる嫌われ者のシダもありますが、ワラビもコゴミもシダです。聞く人は眠くなるかなと思ったのですが、何とか持ちこたえたかな? パレちゃんから「シダを大きな紙に書いて、わかりやすくしたらもっとよかったね」とアドバイスをもらいました。



4時間目＝都々平校長が示した回文の一部

◍土間の窓　◍つけばのバケツ　◍リモコンてんこ盛り
◍カツラが落下　◍任天堂うどん店に　◍世の中ね、顔かお金かなのよ
◍酢豚作りモリモリ食ったブス　◍軽い機敏な子猫何匹いるか
◍イタリアで暮らし楽でありたい　◍けだるき一日 生きるだけ
◍堕落妻が居て家庭が真っ暗だ　◍今朝美味しいおでんで美味しいお酒
◍長き夜の とをのねぶりの皆目覚め 波乗り船の 音のよきかな

9月のま～ゆ市

10日　中央公民館

＊モノコト交換

✧ぶんちゃんからキュウリと茄子　✧今井さんから空芯菜✧食用ほうずきのジャム　✧いっちゃさんから川上村の梅でつくった梅酒とこんにゃく　✧殿下とケセラから、面白くて一息入れる古本

＊9 月のハッピーバースデー

ヒデさん、いっちゃさん、まるちゃんをお祝いしました。

★ヒデさんは台風 15 号で被害が大きかった千葉鴨川の良樹さんの家の屋根が一部飛んでしまったけど何とか無事とのこと。(フェイスブックから)

★いっちゃさんは、この夏に心臓手術をされ 7 時間もかかったが無事に元気になったこと。

また台風で千葉を中心に停電が起こっているがゼーベック発電なら自分で電気がつくれるから災害時に役立つのではとのこと。

★まるちゃんも台風関連で千葉の友人に連絡したら倉庫の隣の屋根が飛んだり停電が続いて難儀をされていることを話されました。　❀今井さんから皇帝ダリアのピンクの花のプレゼントがありました。

台風 15 号が千葉県に大きな被害をもたらしたので話題が台風や停電などになりました。

映画「Tomorrow パーマネントライフを探して」でもありましたが、地球温暖化が確実に進行し日本各地でも異常気象や局地的な災害が年々多発しています。すぐに変えられなくても気が付いた人からやれる対策はしていきたいですね。

＊インフォメーション

★ヒデさんから

9 月 21 日は国連ピース―デー。それを記念して、廿日市でアマナ平和コンサートを開催。たくさんの方の参加をお願い。

★パレちゃんから

「みんなの家通信」を基に廿日市のお知らせとみんなの家の改修作業のお願い。

★今井さんから

小布施町で開催される「ナガノ農と食の会」の講演会。塩田公民館で開催「うえだ農と食の会」のシンポジウム。別所温泉で開催される「温泉まつり」について紹介。

★ケセラから

9 月 19 日に「ま～ゆドキュメンタリー制作プロジェクト」が正式発足。

★ごんべえさんから

10 月 5 日ま～ゆ田んぼの「稲刈り」を予定。

★都々平さんから

会報に原稿を寄せて。今回のテーマは『父』。

＊ミニ企画　「Tomorrow パーマネントライフを探して」を観て

◇子どもの健康と農薬問題

◇輸入小麦の残留農薬問題。パンから除草剤のグリホサートが検出された。

◇子どもの発達障害と農薬使用との関連が科学者の間で指摘されている。

◇農薬使用はアメリカやヨーロッパでは規制が厳しくなっているが日本は反対に規制が緩められている。

◇家畜の飼育用に大量のトウモロコシや穀物が生産され地球温暖化の一因にもなっている。

◇肉食を減らせば地球温暖化を食い止める一つになる。

◇フィンランドの教育は学校現場中心でまずは教師たちが子どもたちと良くコミュニケ―ションをとるように配慮している。反面上田では無言給食や無言清掃などが行われている学校もある。これをどう考えるか？

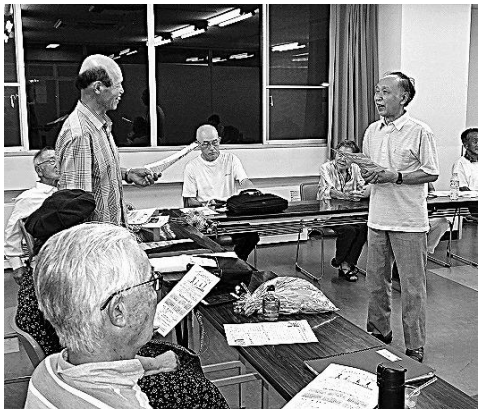
◇社会を変えたくてデモをしても社会は変わらない。だから映画を作って訴えようとした。映画を観て自分の視点が変わった。パーマカルチャーが大事と気づいた。

◇公園や空き地に食べられる野菜やハーブを植えるのがとてもいいと思った。

◇地域通貨についてはもっといろいろ事例がほしかった。

◇民主主義についてアイスランドでは市民たちが自ら動いて国を変えようと選挙の在り方も考え始めている。

「Tomorrow」はテーマが盛りだくさんで、それぞれのテーマで一つの映画ができるほど。
理解を深めるには時間が足りませんが、こうしてみんなで自由に意見交換し、お互いの考えを聞きあうのがとても大事な場だと思います。
（映画を観られなかった方には申し訳ありませんでした）
気が付いたことから実践を積み上げ自分たちでよりよく生きられる社会を作る一員になりたいですね。
　進行役の都々平さん、みなさん、お疲れ様でした。
世話人会　ケセラ

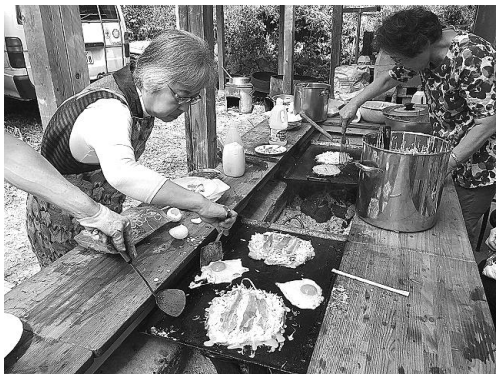


秋和 ま～ゆ田んぼ 稲刈り　10月5日

秋晴れの気持ちの良い気候の中、稲刈り＆はぜかけのお手伝いをさせて頂きました。はぜかけの経験はありましたが、手作業での稲刈りは初めてだったので、とても勉強になりました。一株ずつ刈り取って6、7株ずつ束ねていく。束ねるのもワラを使い、捻って差し込んでとめていく。一つ一つを教えてもらいながら、皆さんと楽しく作業できました。ごんべえさんの仕事ぶりは素早くて、流石だな～と思いました。　No.437 綾ちゃん

稲刈り＆はぜかけ体験をさせて頂きました。私にとっては 30 年以上久しぶりの田仕事でした。想像していた以上に大変で、昔の人はコンバインや田植え機などを使わずやっていたのか！と考えると、先人の方々の偉大さに改めて脱帽致しました。それでも、みんなで冗談を言いながらの農作業は楽しいものでした。お米への愛情もより一層深まり良い経験になりました。　No.436 健ちゃん

ベーグル屋 ハル　春野仁宣・里美
● 県産小麦と天然酵母の
ベーグル＆ヴィーガンブレッドの店
● 1回のお買い物(500円以上)で
50ま～ゆお使いになれます
上田市中央2丁目 11-19
Tel & Fax: 0268-75-0777
chatte-sato@mvb.biglobe.ne.jp
http://www.fsf-haru.com



午前中はみんなで手分けして、ランチのお好み焼きとカボチャスープの準備。今年完成した外の囲炉裏で、一人 1 枚自分のお好み焼きを作りました。ごんべえさんのイガチクの小麦粉で生地はもちもち。キャベツとお肉と目玉焼きがのって、食べ応えのあるおいしいお好み焼きでした!!!!。カボチャスープも濃厚でペロリ。ケーキやコーヒー・ブドウゼリーの出店があったり、差し入れもいただいたり、おいしいものが集まりました。

午後は
“AMANA(井出正&教子)**平和コンサート„**。
すばらしい歌声と伴奏に今年も酔いしれました。バラードに癒され、アップテンポな曲に心が弾み…とても楽しくすてきな時間でした。

演奏された曲目

1. Everybody Needs Love and Harmony
2. IMAGINE
3. 木を植えよう
4. 次の世代の子どもたちに
5. 見上げてごらん夜の星を
6. 上を向いて歩こう
7. 楽しいがたくさん
8. ファンキーばあちゃんファンキーじいちゃん
9. 大切なこと
10. 古（いにしえ）

AMANA 平和コンサートに沢山参加していただきまして本当にありがとうございました。おかげさまで目標の 30 人を達成することが出来ました。“上を向いて歩こう„の殿下の口笛、都々平さんのきれいな声、そしてトリの ごんべえさん・パレちゃん・殿下・都々平さんのリードで会場が一つになった、“故郷„、最高のひとときでした。　　(No.130 ヒデさん)

都市・建築工房　No.130ヒデさん(竹内秀夫)
●トラブルの多いリフォームだからこそ
お任せください
● 家のことなら何でもお気軽にご相談ください
● 消費税分「ま～ゆ」が使えます
上田市御所274
TEL28-7532 fax 28-8190

西洋占星術・ヒーリング
No.267 くらげ(水沢)
● タロット・自然療法・不思議いろいろ
●ま～ゆ会員は2割引。
さらに半額までま～ゆ払い可能です。
●障害や不具合をお持ちの方の介護や
お手伝いも、ま～ゆで承ります(介護福祉士)
上田市中央東 1－19
連絡先:090-2755-1383

10月のま～ゆ市　10日 中央公民館

　初めての方（市川さん・曽田さん）や久しぶりの方（重さん）もあり、まずはみんなで自己紹介から始めました。

■モノ・コト交換市

◇アントさんがカボチャをいっぱい◇ぶんちゃんがレタスと青首だいこん◇ケセラが古本◇にゃんこ先生がアケビを、持ち寄りました。それぞれがお目当てを交換しました。山ほどあったカボチャも無事に売り切れました。

■インフォメーション

◇環境フェア（ヒデさん）◇「サンタプロジェクト」の立ち上げと参加の募集（重さん）◇「北国街道まち歩き」（ミーすけさん）◇映画「私と種の物語」上映会（市川さん）◇モアラ LIVEin やまさん（あやちゃん）◇のぽんて紙芝居 in 廿日市（はらまきさん）◇味噌用大豆の刈り取りと脱穀（ごんべえさん）

♡10 月ハッピーバースデー

　ごんべえさんをお祝いしました。ごんべえさんは「体力の衰えを感じるけど百姓を頑張って続けます」とのこと。まだまだ元気いっぱいでやれます。にゃんこ先生がバラエティー豊かなバースデーのお菓子を作ってくれました。

■ミニ企画 “モアラと一緒に歌いまSHOW♪„

初めに、綾ちゃんのギター伴奏で健ちゃんが「米」（豊田勇造作詞・作曲）を歌いました。

この歌は 1990 年代のコメ不足の時に作られ、当時は筑紫哲也の番組でも紹介されたそうです。健ちゃんの思いのこもった味わい深い歌でした。

次は、綾ちゃんの作詞・作曲「おかえり」を本人がギターの弾き語りで、情感たっぷりに歌ってくれました。やさしく包み込まれるような詩とメロディーに気持ちがとても穏やかになる素敵な曲でした。

　♪みんなで歌おうタイム♪では、綾ちゃんと健ちゃんのギター伴奏で、「この広い野原いっぱい」「見上げてごらん夜の星を」を歌いました。

　最後は、みんなが集まって「四季の歌」を大合唱しました。健ちゃんの歌の指導と2人のギター伴奏つきで歌うことで、みんなの声が一段とすばらしく響き、ま～ゆ合唱団ができるかも◇◇と、予感させるようなひと時でした。

❤孟さんが初めてま～ゆ市の様子を撮影してくれました。いつも遠く千葉から来てくれて一生懸命撮影してくれる孟さんに感謝です。

　参加されたみなさん、孟さん、ありがとうございました。

世話人会　ケセラ（安井啓子）

蕎麦処　いちや　No.312 牧野隆彦

●お食事代の 5%をまーゆでお使いください

●環境やお財布にもローインパクトな蕎麦屋を目指しています平日は予約制となっています

※前日までにご予約頂いたお客様には一品サービスします

上田市住吉1160　TEL25-1841／携帯080-5140-6689

EQWEL チャイルドアカデミー上田教室

No.11竹田

● 体験レッスンの20％まで「ま～ゆ」をお使い下さい

上田市中之条101-1利幸第2ビル201号

TEL23-2952

上映会を終えて

ケセラ

8 月 25 日の「Tomorrow パーマネントライフを探して」の上映会は予想を超えるたくさんの方の参加で盛会に終えることができました。

スタッフとして準備をしてくださった方はもちろんですが、チケット販売や宣伝に協力してくださった多くのみなさん、出店者のみなさん、そして何より当日足を運んでくださったみなさんの大きな支えがあったからこそできた上映会でした。みなさん、本当にありがとうございました。

この映画は、これからの食やそれを支える農、再生可能なエネルギー、人を幸せにする経済の在り方、民主主義、そして新しい人を育てる教育と、テーマが盛りだくさんでした。テーマごとに一つの作品ができるほどの内容でしたから理解を深めるには至らなかったという方もあったかもしれません。だからこそでしょうか？テーマ別交流会ではみなさん活発に話し合いをされて時間が足りないほどでした。そして感じたのは一つのテーマで話しあいをしても、例えばエネルギーのテーマからは経済や民主主義が深くかかわってくることが分かってきます。また子どもたちの教育からはコミュニケーションの取り方や人権、民主主義、食べ物の選択など、つながりが見えてきます。

この映画では社会が抱える問題は別々にあるのではなく深く影響しあい繋がりあっていることが分かるよう構成されていました。

一つの映画に出会ったからと言ってすぐに生き方が変わるわけではないでしょうが、それでもこれをきっかけに、これからの暮らしの中で何を大事にしていくかを改めて自分に問いかけていければいいなと思っています。

アンケートやテーマ別交流会のまとめを担当者が書いてくださっていますので併せて読んでください。

食を大切に思うことが物事のすべてに通じる解決策

農と食が健全であれば、心身も健やかに保てることを、小さな子どものうちから教育される社会！

エディブル、インクレディブル、とてもいいなあと思いました。世界を変えよう、地球を救おうよりもすぐにできることからという考えが好きです。
問題を突き詰めていくことも大切。
でも、楽しくむりなくできるかどうか。
すべての家の庭に野菜が育つようになったら楽しいなあと思った。

パーマネントライフの実現のためには肉食を減らすことが必要不可欠だということを
もっときちんと説明して欲しかった。
（映画の中で）

リサイクル　リユース　私たちも地球の一部だ

ゴミを 100％資源化し、堆肥→有機農業の実践例　やれば出来るじゃないか！

ゴミも相手もおもいやればちゃんとできるのに

忙し過ぎる親にはゴミの事を教えられないよ

ゴミがきれいに分別されればいいな

いろいろトライした方が良い事が伝えられました　生ゴミ 26 年出していませんが、その他に具体的に動きたい！何をしよう？

マイクロプラゴミに苦しんでいる海洋生物やアマゾンで焼け死んでいる動物たちへの視点が感じられない

バイオマスは木質ばかりではなく…

（原発抜きの）エネルギーミックス

やっぱり省エネ

エネルギー　太陽光パネル問題どうしようかと思っております

映画はよかった。エネルギーに参加したが、規模を小さくすることが大事との感じを改めて強めた。

環境問題にもっと多くの人が関心を持ってほしい。映画をもっと多くの人に見てほしい

トラブルは起きて当たり前なのに…
トラブルは起きてはいけないということに

経済対策の中での地域通貨に大変関心を持ちました。

地域通貨の章はとても興味深かったです。誰がお金を作ったか、またどこへお金が流れてくのか、考えたら地域通貨はこれからの可能性はあるではないかと。
よい取り組みはお金がかかるのではなく、お金を生み出していたのが印象に残った。

地域交流を活発化することが一歩でも進化すると思う。

民主主義を成立させるためには、利権構造に支えられている企業中心の社会を変えること。
第一歩かな？

地域を動かす力を持つ人たちにもっと勉強してくれとはたらきかけるのが市民の役目のひとつ。

おかしいことはおかしいと声を出す。

少子化社会の中で上田市が輝くには、市民の力で改革する必要があるのではないかと思います。

社会を変えるのは政治だけじゃない、ひとりひとりの行動、変化、意識の変化!実行すること!まずは自分と周囲から

くじびき勝負はカルチャーショック!
そのためには一人一人が個人として自立していること

いい話し合いでした。結局、自立した市民がどうしたら育つかですね

地域を変える人になる。

民主主義　テキサスで最初反対した住民が学び、情報を得た後風力発電に賛成した!

チコちゃんに叱られないように民主主義を追求しなければと思います。

今の教育の現場
教師がつながりにくくなってきている。ブラックな職場が多いと聞いてびっくりしました。

フインランドの教育の映画の中せりふぜんぶに残る素晴らしいものばかりでした。

通達で教師の民主主義を奪われている
ゼロ・トレランス

教育現場
働き方改革→でつまらなくなっている。
教育が未来に向かって働きかけているのが大事

子供の多様性を認める社会が大事。教室の内は社会の縮図である。ここで民主主義を体験する場

教育は本当に大事

子供が自分の意見もてる教育を

最初の４章は余り頭に入ってこなかったが、教育は自分のことでもあるし、政治などにも関わっているので見入った。話し合いでは他の学校の事を知れたり、知らなかった話についても知れてよかった。学校が政治を作っていると思っていて、政治家も教育を受けその教育が安倍さんを作っているのだから、教育から変えていくべきだと思った。

教師の民主主義が現場になくなっている。ゼロトレランス

これからは子供に向けてアピールしていきたいです。

教育のテーマに参加
現在の学校システムの問題がいろいろ勉強になり、良い時間でした。

教育に関係している仕事をやっているのでとても参考になりました。

オランダ中学タバコの害を教えた上で、最後選ぶのは本人、罰を与えない

今の日本にそして私に必要なのは「寛容」だな

色々知らないことが、まだまだたくさんある。

むずかしすぎる。

多くの方にこの映画を観ていただき、出来ることから実践して欲しい。

危機感が足りないのでは、何も進まない。

世界で様々な取り組みが行われていることを知ることができてよかった。

個々の日々の生活に活かし、推進できればと思いました。

今できること一つ一つやれそう

文句が多すぎる。

未来に向けて動きたくなる映画。

良い学習をさせて頂きました。

道は遠いけれど、ここに、これだけの人が集まっている。
ここから始めましょう。

目からウロコだらけでした。
あんな考えもあるんだ、こんなことのできるんだ!
明日から自分にできることを考え、行動したいと思いました。

改めてあたりまえの事をやり続けることの大切さを学びました。
ありがとうございます。

色んなことにチャレンジしている沢山の人が居るなぁ…思いました!!
まずは自分から!!!

原発事故の後ま～ゆさんの勉強会に来て以来ですが、また、この映画みたいに心がふるえる内容を教えてください。観に来ます。

希望です!!
子供たちに解決策は
示すことが出来る

対策が解らんのは大人も若者も同じ。

気づいた人から周囲の人たちに小さくてもいいから伝え始めること。

テーマ別交流会

食と農

身近なテーマだけに8人の参加でした。工場閉鎖で失業した貧しい住民が自給自足を始め、近郊農業で世界の数十の都市に影響を与えた例やマンチェスター近郊の小さな町トットモーデンで、街角の空き地を花壇にしたり公共の土地に作物を植える例は、我々でもすぐに実践出来そうでやれることから始めようという気になりました。中でもロスアンゼルスのゴミを100%リサイクルしたり処理している例は、我上田の現状との余りの違いにある種のショック受け、この問題がメインに議論が進みました。ことに生ごみを堆肥化して有機農業を進めている例は、やれば出来るじゃないかとエールを送られた気持ちになりました。

ただ映画全体の印象は内容が盛り沢山で濃すぎてとても難しかく、疲れたとの意見が多かった様に感じました。

№2 **ごんべえ**

経済・民主主義

もとは別々の交流会の予定が、参加者数の都合で合体しました。それぞれが“腹に一物手に荷物”のメンバーで、すべての交流会のテーマを寄せ集めたかのように、自由に発言を交わしました。自己紹介に合わせての発言から、教育・エネルギー・民主主義・経済・食と農におよび、どうまとめて良いのかわからないまま時間切れ。でも、それなりに印象に残った発言はあります。エネルギーの規模の考え方とか、もっと時間をとって欲しかった地域通貨の現状、世界には自治体規模で使われている地域通貨があることなども、もっと知らせて欲しかった。メンバーの中で発言があった、上田市の“無言給食”の実態もこういった機会だから知ることができたのかな？

№381 **殿下**

エネルギー

「言いたいことがある」5 人が集まって、発言時間にも映画の感想にも縛られず自由に話し合いました。

立科町で計画されている水力発電装置の是非について。新電力会社への関心度。市民エネルギーの取り組み。省エネと太陽熱温水器の推進。大規模発電を小規模＝地産地消にの主張。が主な発言内容でした。それぞれが常日頃からエネルギーについて関心を持ち、明日へ向かっての思いが強いので映画から受ける印象は薄かったようでした。

私としては「肥大化することの弊害」がこのテーマだけでなく、食も農も、経済・民主主義・教育と全て共通の課題であり、TOMORROW はこれを訴えているように感じました。

№50 **都々平**

教 育

映画の中でフィンランドの教育改革の取り組みについて大事にされていたことは、1人ひとりの多様性を認めることとそのための対話、そしてそれを可能にするための教員養成の重要性だったと思う。テーマ別交流会ではそのことが今、日本（上田）ではどう実現されているか、という点で現状や悩みが情報交換された。不登校に至った現実や、教員の働き方の問題、生徒や保護者との対話の不十分さ等。さらに、自分たちが克服していくためにという方向性を持って話ができたと考える。様々な取り組みの報告もあった。

№309 **シンコ**

映画「Tomorrow」を観た感想　№395 いっちゃ

最近、「地球温暖化防止と人の健康のために肉を食べるのを控えましょう」という記事がネイチャー(Nature)という国際的な学術雑誌に載りました。この中でアマゾンの熱帯雨林を肉牛の牧場にするために伐採することに警告し、人間が食生活の中で肉食を控えることが、地球の樹林を守り、炭酸ガスの放出を抑え、結果的に地球温暖化を防ぐことができると述べています。

これは国連の「気候変動についての政府間パネル(IPCC」が植物食を基礎にした食生活が地球環境を守り、人間の健康にも有益であるという報告と符合しています。

このことは前からにゃんこ先生が言っていたことですが、国連はやっと追いついてきたということでしょうか。　でも、この問題は奥が深そうですね。

明日から私が始められることは、できるだけ肉を食べないことかな？　№389 アント

数年前これをしたいと思っていたケセラさんが、事情があって棚上げになっていたところを背中を押した形になったのと、ヒデさんとにゃんこ先生から「上映する価値あり」と意見をいただいたことで実現しました。

ま～ゆの懐の深さを身を持って体験したのでありました。

映画は〝このままの暮らしを続けていると人類は早いうちに全滅する恐れがある〟という論文が学術雑誌「ネイチャー」に発表されたのを受けて制作されました。この世を牛耳っている大企業や政治家に期待するのは諦めて、一般の人の心に向けて認識すべき情報を発信してくれました。

色々正すべきことが多くて何をしたらよいか悩んでしまいます。

地域通貨を広めている町もいろいろ紹介されました。そもそも我が「ま～ゆ」は 10 数年前からパーマネントライフをさがしているということか。

そんな中で私はできることを見つけました。

映画では、パーマカルチャー(農業)の章で登場します。小規模企業の薦めの内容で表現されました。大規模農業のおよそ 70%は家畜の飼料用としての生産だということです。この畜産業が原因の地球温暖化ガスは全体の 51%も放出されていることを知りました。ゆえに肉を食べないということは(環境悪化による)人類の滅亡を遅らせることになるのです。

更に、肉を食べている人は食べていない人より大腸癌の発生率が約 8 倍も多いことも知りました。　肉を食べないことは地球にとっても、健康にとっても良いです。

地球環境について考えていて、ふと思い出しました。25 年くらい前、カツーン(ヒトコマ漫画)のコンテストによく応募していて、ことごとく落選していたことを。テーマは主に環境問題でありました。そこで日の目を見ていない小生の作品をこの機会にお披露目させてください。ただ画力がない由、落語のオチを説明するが如く、絵に説明文を添えました。そのことを笑ってやってください。

〝ボーっと生きていると死んじゃうヨ !!〟地球に住む、生き物会議のようなところで、大企業代表が未来について演説しているの図。

食い物にされているブタさんもウシさんも幸せそうに拍手しています。ボーっとしていて洗脳されているんです。

ここに一般の市民が参加していないのは、大企業の餌食になって絶滅しているからなのかな？

世の中のゆがみに気が付いているのはチンパンジーだけかもしれません。

ま～ゆ会員にききました。

”わたしの父親”について語ってください

父は人生の勝者なのかも

№320 **合原**

私は90歳の父と配偶者との3人暮らしです。母も健在なのですが、父は母とうまくいかず、東京でも別居していたのを、父の事業が失敗した時に、父だけ上田に来てもらいました。

事業家の祖父の子として生まれ、結婚しても実家のお手伝いさんが付いて来て食事の用意をする、いわゆるお坊ちゃんだったようです。酒は飲みませんが煙草を吸い続け、大変な偏食で、常にゴーイングマイウェイで人の言うことを聞きません。

祖父が亡くなって仕事が上手く行かなくなり、東京に出てきた後も、勤めを辞めて何度か事業にトライしましたが、全部失敗しました。財産も無く、社会的に見ると父の人生は失敗と思います。

しかし生物の根本に立ち返ると、成功とは、個として長生き出来、種として子孫を増やすことです。ひ孫は 3 人になり、増殖しています。個としても、借金は無く年金でお金にも困らず、煙草をやめずとも肺がんも持病もなく、杖も突かずに歩いています。一つの良い人生かもしれないと思う今日この頃です。

父の下駄

№158 **うえのさん**

私の父親は穏やかな人だった。下駄もそのように平らかに減るのかと思ったら、かかとの外側が一番低く、親指の側が高く急坂のように減っていた。子供の私は面白がって時どき玄関にあると穿いて遊んだ。

戦時中、高校生になった私は、靴など売っていないので、峠道を下駄で通学した。気がつくと私の下駄は父とそっくり同じように、外側が低く、親指の側が高く減りかけているので私は笑った。

父から学んだ事

№188 **リンちゃん**

父林太郎は、1919 年 3 月に東塩田平井寺で生まれた。(ミーすけさんの実家の近くで、親同士が同級生)家が貧しく 12 歳で室賀の上田屋商店に奉公に出された。戦後仕事がなく悩んでいると、親戚に豆腐屋さんがおり、勧められ、生活のために豆腐屋に決めたとのこと。

私が低学年の頃、上田屋商店の主人と父が、縁側で茶を飲んでいたので駆け寄ると、上田屋の)もとたろうさん主人から「大きくなったら豆腐屋になるか」と聞かれ「わからない」と答える。家に帰る道すがら父が「豆腐屋ではいくら働いても財産は残らないが、将来何になるにしても困らないように、信用と言う財産を残してやるからな」といった。私はあまり意味も分からずにいたが、何故か心に残っていた。高学年になり豆腐の配達をするようになると、どの家でも「太郎さんの息子」と優しくしてもらった。

月日が流れ私の子供が保育園に通うようになると、「太郎さんの孫」と分かると皆さん可愛いがってくれた。

私は郵政省に入り何回か転勤をし、最後は希望どおり室賀郵便局勤務になった。ほとんど顔見知りのお客さんで「太郎さん元気かい」と声をかけて頂いたり、父が上田屋さんに奉公に来た当時の話をしてくれる人もいた。私は父から誠実に生きることを学び、お金に代えがたい財産を残してくれ感謝している。

私は子供に何を残したかと思うこの頃です。

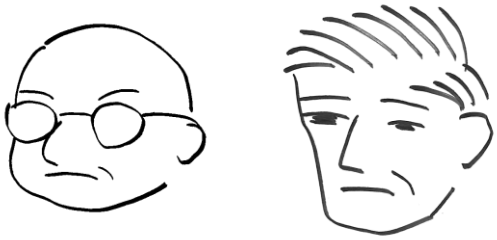
甲田はきもの店 №39 甲田

●ご利用金額の 10%まで「ま～ゆ」をお使い下さい

●靴、草履、下駄などの修理は20%まで使えます

上田市中央4-6-24

TEL22-1272



とうちゃん　№55 ミーすけ

父は小学校の教師でしたが、小県産業高校を卒業して、松本へ勉強に行って先生になりました。地元の学校を回っていましたから、田んぼやお蚕の仕事は良くやりました。勤めていて畑仕事が間に合わないので、私たち子供は大事な働き手でした。日曜日に部活があっても行くことは出来ませんでした。うれしかったのは本を買ってもらったことです。どういうわけか全集が多かったです。でも父が本好きだったのか分かりません。雲を見て天気がどうなるか、よく予報していました。体は丈夫でした。甲種合格で戦争にも行っています。中国で騎兵だったそうです。

父が亡くなって6年になりますが、今、母が入所している施設で弟がヘルパーさんから声を掛けられました。「塩田で林先生と言う人がいましたがご存知ですか」と。「それは父親です」と答えると。なんということとびっくりされました。浦里の小学校で、お兄さんと、自分が担任してもらったということです。4～5人で浦里から自転車で舞田峠を越えて平井寺へ遊びに行ったそうです。

私も驚きました。亡くなった父が生き生きと現れました。こんな偶然があるのだなと。私たちの知らない父の一面が知れて、私も弟もうれしくなりました。

コロボックル　（西山）

№381 殿下 №388 キョン

オーガニック・フェアトレードの自然食品を
25 年にわたって自宅で扱っています

代金の10％分　ま～ゆが使えます

上田市古里 699-6　P 2台ほど可能

Tel　0268-27-3903

父ちゃんあのねのね

№71 トットちゃん

今日は食と農の会で小布施まで山田正彦氏の話を聞きに順子といってきたんよ。

日本の国は命にかかわる食の規制が緩く、農薬・食品添加物の影響で、大人は癌、子供たちは発達障害等の病気が増えてるんよ。
毎日心おれるニュースばかりなんだ。

昔、父ちゃんは田の草取り、畦・土手の草はすべて手作業だったね。今は除草剤と称して立派な薬があるんよ。それがグリホサートといって怖いんだ。

草を枯らすと聞くと、ベトナムのベトちゃんドクちゃんを思い浮かべるよ。枯葉剤だね。

この頃は家庭菜園がブームでこのグリホサートがホームセンター・100 円ショップ等で手に入り、日本中大量に田畑は勿論公園にまで使われてるんよ。亡くなった佐久病院の若月先生がおれば「何だこのにおいは、臭せえな!!」と叱るよ。

そうはいっても日本は捨てたもんじゃないよ。ツルヤではオーガニック売り場も設置され、小布施では有機農業を目指す若者が多く、今日この話を若者は勿論、町会議員も十数名参加共有していたよ。小布施の子供の未来は明るい！と感じたよ。

山田先生も「町に条例を作り、学校給食は有機農業で!!」とエールを送っていたよ。

韓国でも給食に有機農産物を取り入れ始めた。30 年後は日本との差が相当つくだろうと話されたよ。

また、真田町の大塚先生もディスカッションにおられ、「人が食を心を作る。農薬食材を変えて子どもの脳を守れ。家庭ではなるべく手作りを。パン食からご飯に。」と話された。大塚先生はかくしゃくと人間の生きていく基本を話されたよ。

そんなわけで腰の曲がってきた英夫ちゃんと父ちゃんに教えてもらった土作りが基本の農業を子供・孫を守るためもう少し頑張ってみるね。

それではこの辺で、先祖様によろしく。

父親との思い出

№2 ごんべえ

私と父親との関係は一般的なそれとは随分違うような気がします。一緒に何処かへ連れていって貰ったとか和やかに団欒をしたとかの記憶が全くないのです。父親だけが全く別の世界に住んでいる様で、我々家族とは情の通い合いなど全く感じられなかったのです。あまりの隔たりに、寧ろ憎くいとさえ思っていました。

父親は明治の最後の年に生まれ、大正から昭和の初期の多感な時代を世界恐慌に依る経済の破綻、政治的な混乱、軍部の台頭により戦争へと向かった、まさに暗黒の時代を過ごしました。ことに身近な農村の疲弊と惨状はその後の彼の人生に大きな影響を与えました。学生運動を通じ左翼思想に傾注して行ったのですが、心ならずも召集され日中戦争から太平洋戦争まで長い軍隊生活を過ごしました。

戦後、新しい革新自治体を作るべく政治の世界に入りましたが、折からの朝鮮戦争勃発により右傾化が進み、わずか4年で挫折に追い込まれました。

その後、あまりの状況変化に対応できず精神を病み2年余りの闘病生活を送りました。

私が物心付いたのがこの頃です。家の中から一切の笑いが消えました。

高校二年の時親しくなった友達の家へ遊びに行った時のことです。友達のお父さんは小学校の校長先生をしていたのですが定年を少し残し、脳梗塞で倒れ退職して家で療養していました。このお宅の明るく風通しの良い雰囲気にショックを受けました。家族一人一人が自立してお互いに大切にし合っている様子がひしひしと伝わって来たからです。

その夜家に帰って父親に議論を挑みました。私の父親と同い年位の病気の父親を中心とした家族の有り様、我が家と余りに違う雰囲気などなど。そしてなぜ我が家には無いのかと…言葉に詰まって涙ながらに俯いている私の前に湯のみ茶碗が付き出され一升瓶から酒がつがれました。「飲め！」と一言、二人は無言で酒をあおりました。

以来、雲が晴れた様に、折に触れ議論するようになりました。父親の問い掛けは常に彼の人生観に基づく根源的な問い掛けでした。未熟な私は高度成長に浮かれて、今考えると恥ずかしくなるような理屈を捏ねていました。父親が逝って早50年、この問い掛けが今でも時折耳の奥から聞こえてきます。これで良いのか？このままで良いのか？と…

№76 ぶんちゃん

私の父親は、農業一筋で生計を立てていました。水田、薬用人参、養蚕です。冬は堅炭も焼いていました。今考えると機械化されていないのに 3000 坪の土地を耕作していました。そして毎日農業日誌を付けていました。

その間公職もしていて、今は上田市になっている塩田町の、町会議員や民生委員もやっていました。その分、母や子供に負担がいき、私はたくさん農業を手伝わされました。

また戦争中は中国にいき、辛い体験をしたみたいで戦争のことは話してくれませんでした。軍人恩給を頂いていたので長い期間戦争に行っていたようです。

92 才で亡くなるまで囲碁を楽しみにテレビ観戦をしていて、亡くなる3日前まで日記をつけていました。亡くなる5日前頃雨の降る日自宅の前の鉄城山を何時間も見続けていたとのことです。なにを思っていたでしょう。

最期まで自分らしさを貫いた幸せの人生だったかも知れません。

80にして…　No.50 都々平

私の父は尋常小学校を出た 12 歳で、織物問屋「土屋商店」(倉庫が現在真田太平記館)に奉公に出されました。盆と正月の 2 回しか藪入りで実家に帰ることのない過酷な労働環境の中、夜は〝読み書きそろばん〟に励み、それなりに身に着けたようです。体はいたって健康、食欲旺盛の働きもの。酒が大好物で倅の私とは大分違いがあります。性格は(馬鹿が付くくらいの)正直で、要領よく振る舞えずいろいろ辛い思いをしたと聞いています。

兵役に採られ無事に復員後、独立した商売は(物資不足の折)順調でしたが、その後商売敵が台頭してくると「一人男」ではどうにも敵わず、私が継いだころは自転車操業に近い状態でした。このような父には尊敬の念はなく、こんな商売をよくも継続してきたと思います。

満州に渡った弟が敗戦でソ連のイルクーツクに連行され戦病死した恨みと、無教養がゆえに革新思想を理解できず、共産党・社会党が大嫌いでした。いっぱしの理屈をこねる青年期の私とはよく対立もしました。ところが晩年、消費税導入を政府が決めたのを境にガラッと見方が変わりました。自分が苦労を強いられた根元に「社会の仕組みに間違いがある」と気づいたのです。80 歳代にしてこの柔軟さ、これには脱帽です。

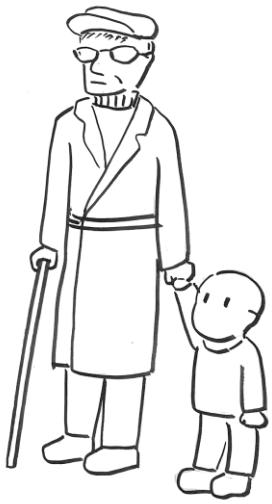
蕎麦屋　つゞき　No.412 近藤 薫

●お食事代のうち 100 円をま～ゆでお使いください
●浅間山麓 700mの自家製・手打ちそばです
●珍しい変わりそばや、箱寿司・蒸し寿司などもあります
●営業は4～12 月の金土日、11:30～14:00 です
◇所;湯の丸ICから山側へ 800m祢津JAの近くです
東御市祢津1308 TEL0268-63-6192

父の思い出　No.147 かっとまん

私と似てると言うより、もっと個性的だった親父とは仲がいいとは言えませんが、学歴社会の中で頑張っていたことに尊敬しています。

私は中・高生の6年間、親父と口をきいたことがありません。息子とも同じで、親子だなと思っています。お互いに相手が何を言うかが解るような気がします。不愉快とは感じませんが、俺と同じようなこと言うなと感じ、違ったこと言い返そうと構えるので緊張感が高まり、喧嘩になるので会話をしないことにしました。大学時代は多少話しましたが、社会人になってから、少しは普通になったと思います。明治生まれの親父は私の駐在地に遊びに来て、タクシーや地下鉄を使ってロンドン市内を一人で観光してました。

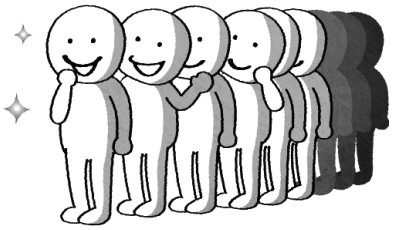


時々5歳の息子を連れて外出してましたが、帰ってくると、「お前の英語より子供の方がうまいと言われた」と、ロンドンのタクシー運転手は訛りが強く、キングズイングリッシュが喋れないと怒っていました。

118号のテーマは〝行列〟です。

◍人気の行列のできる店 ◍イベントで長蛇の列にうんざり ◍○○時間並んで結果はガッカリ ◍行列大嫌い ◍待たされて疲れたけれどよかった等々…

とにかく「**行列**」に関することなら結構。気軽に書いて寄せてください。



ま～ゆな人

№388 **きょんさん**こと**西山貴代美**さん

父親のＤＶ

きょんさんは子どもの頃、お父さんのＤＶが原因でお母さんの親友の家にお母さんと避難したことがあったそうです。お母さんは美容師さんでした。わずか3才のときでしたが、お雛様が飾ってあり、緋毛氈の赤い色が目に残り、私のひな祭りではないと強く心に残ったと話されました。お父さんが詫びを入れて家に帰りましたが、暴力沙汰はしょっちゅうでした。お父さんは所謂髪結いの亭主でお母さんの稼ぎを充てにしていました。

このような両親を見ていましたから、早く大人にならざるを得なかったといいます。強いもの、権威・権力を振るうものに立ち向かっていく強い気持ちが植えつけられたと。

早く一人前になってお母さんを助けたいと、15 歳で家を出て東京の高校に進みました。青山学院大学英文科に入学し、2歳上の学年の殿下と知り合い卒業し、結婚しました。きょんさんは教育にも関心を持ち、塾の先生と家庭教師を掛け持ちしながら教育学部に2年間通い小学校の教員の資格も取りました。

子どもってどんな風に大きくなっていくのだろう?発達の姿を見てみたいと、5年間私立の学校で教員をしました。

薬のこと

殿下に、首の筋肉が硬直する、眠れないなどの悩みがあって、心療内科に通い出した時、処方されている薬の影響が心配になり、同じ薬を調合してもらうため自分も心療内科に行き、不調を装ってみたら、医者に「木の絵をかいてごらん」と言われ、リンゴの実のなる大きな木を描いたそうです。医者に、「しっかりした絵ですね」と言われ、うそがばれそうになったとか。

フリースクール

きょんさんは度々引越しをしています。何回目かの引っ越しで、山梨県甲斐大泉村(現北杜市)に移り、ペンションを経営しました。クッキングスクールで料理を学びながらなんとか経営。そして、長男を恵那の学校に行かせるために岐阜に行ったり、栃木の実家にもどったりしました。長男が高校1年で地元の学校に行かれなくなり、北海道の北星余市高校に入り直し、余市で3年間下宿生活を送り卒業しました。次男は小中学校にはほとんど行かず、ホーム・ベースド・エデュケーションという教育スタイルで育ちました。そういう育ちをする子どもたちのため「亀の島」というフリースクールを作り、12 年間、様々な親子と出会い、学校に行く以上に貴重な体験をしました。次男は 2012 年、一人で九州に避難移住し、その後ピースボートにはまり…

放射能のこと

放射能を測定してみると、日光杉は上方の枝の若芽が根元より強いことが分かり、セシウムが樹木内を循環していると予想。そのことが避難移住の背中を押しました。三人の年寄りのいる栃木に戻りやすい上田に決めました。

上田では 2011 年の夏からリフレッシュキャンプが行われていたので、引っ越してすぐスタッフになり、次の年は実行委員長に選ばれて会を運営しました。

保養の家を作る

保養は3週間から1ヶ月は必要だと云う信念を持ち、2016 年に任意団体の代表として、「子どもの保養サポート・上田」を立ち上げました。最初は別所温泉と山口に、翌年には武石に家を借りて保養受入をしました。家族が自律的なのんびりした生活を送ることを大事にしていますが、到着日にはいらっしゃいの気持ちをこめて食事の用意をしておくそうです。買い物の付き添いや送迎、武石川や公園、ともしび博物館などで一緒に遊んだり、食事を共にとることもあるそうです。

去年の春からは、JCF(日本チェルノブイリ連帯基金)が仲立ちとなり、信大の小児科の先生が問診をしたり、血液や尿検査をしてくれる「検診」を組み込んだ「保養＆検診プロジェクト」も始めたそうです。

木質バイオマス発電

東御市に出来る予定の木質バイオマス発電所について4人の女性がまず「学ぶ会」を立ち上げ、行動を起こしました。もうすぐプラントが完成しますが、市民への説明がほとんどないので、説明会開催の要望書を東御市に出しています。最初の事業主は東電でしたが、今では清水建設に変わっています。清水建設は福島の除染を引き受けている会社なので、燃料の木材に福島の汚染木が使われないかと危惧しています。

きょんさんの楽しみ

いつも社会的な正義を求めて戦っているきょんさんですが、保養も、苦労よりはやること自体が楽しい、孫がいるような気持ちになれるといいます。太極拳を受講、映画にも行き、自分の空いている時間は寺子屋のような塾も開いているそうです。

ま～ゆの行事にはなかなか出席できませんが、農薬の空中散布の件では、メールにしっかり参加しています。

ミーすけ 記

初めての海外旅行 ⑩

№130 **建築よろず屋のヒデさん**

1987年2月11日(水)は、バルセロナへ午前中に到着し、ガウディが設計したグエル邸の向いに立つホテル・ガウディにチェックインしましたが、これまでの旅の疲れと風邪気味でダウンしてしまいました。ベッドで横になり、夕食も取らず、このまま朝まで寝ていようかと思いましたが、どこも見ずに1日終えるのがもったいなくて、ピカソ美術館を目指して路地を歩き、18:30 頃に辿り着きましたが、閉館間際ということで入ることができませんでした。仕方がないので、近くの大衆食堂で簡単に夕食を済ませ、ホテルに戻って朝まで寝ました。翌 12 日(木)は、十分睡眠をとったのが奏功したのか、だるさが取れ、奇跡的に復活しました。

平行定規と三角定規で建築図面を描いていた学生の頃は、曲線を多用したガウディの建築を毛嫌いしていましたが、日本の木造建築の良さに気づき、鉄とガラスの建築に決別した頃からか、一つの生き物のようなガウディの建築が好きになりました。

ホテルからランブラス通りに出て、北に向かい、カタルーニャ広場からグラシア通りをさらに北に向かうと、右手にガウディが設計した集合住宅カサ・ミラが見えてきました。今まで建物の均質な外観ばかりを見てきた私にとっては、それは大きな衝撃で、衝撃が感動に変わるまで時間はかかりませんでした。そして、心の中で、何度も「すごい」とつぶやいていました。

カサ・ミラの 1 階には事務用品を扱った店が入っており、そこだけサッシにワインレッドのような赤い色が使われていて、少し違和感がありましたが、しばらく眺めていると、逆にそれがアクセントになっていて、いいかも知れないと思えるようになりました。ただ、インターネットでカサ・ミラの画像を見ると、現在は他の窓と同じグレーになっているので、恐らくテナントが変わるときに統一してしまったのかも知れません。赤い色のままの方がよかったように思いますが。

カサ・ミラは、1910年に建てられた石造6階建ての集合住宅で、所有者のミラ夫妻は 3 階のフロアに住み、その他の住戸は貸していたそうですが、当時の地元の人々には建物の評判が悪く、「石切り場」を意味する「ラ・ペドレラ」と呼ばれていたそうです。1984 年にグエル公園、グエル邸とともに世界遺産に登録されました。

(つづく)

投 稿

人工肉

№50 **都々平**

にゃんこ先生はご存知でしょうか。

何か月か前、テレビのニュース番組で「アメリカでは人工肉がブームになっている」と報じていました。

にゃんこ先生のメニューの中に肉と見せかけた料理があって、食感・味共に「よく似せたものだなぁ」と感心した記憶がありますが、この人工肉の原材料は大豆、エンドウ豆、じゃがいもを主に蛋白質をはじめ、栄養価は本物の肉と遜色がないとか。少量のビーツが赤い色味を、ココナッツオイルと片栗粉が、ジューシーな肉汁の元とも。

また、ほかの番組では「培養肉が実用段階に入った」とも伝えています。

こちらは幹細胞を培養して作る動物蛋白で、いわば試験管肉。遺伝子組み換えやゲノム編集といった素人では理解が難しい技術が食料の世界を根底から変えてしまう時代になってきました。それと似ているのか？同じなのか？安全性を無視して突っ走られては困ります。

しかし、環境問題への有利性や食糧危機の救世主となり得るかも。そして“動物の命を奪わない„安堵に結びつくのであれば・・・・・期待感がもてます。

読みかじり、聞きかじりの域を脱していないので、いずれ続編を書きます。

No.
395

八　先生。コンチワ
先生　オウ。八ツあんか。景気はどうだい
八　景気はまあまあだが、先だって、横丁の山田の隠居がオレはもうすぐあの世に行くから、香典をくれるなら、いまくれれば死んでからより少し負けておく、と言った。それでは、というわけで長屋の連中普通より2割ほど少ない金を香典として持っていった
先生　ホウ、それで
八　ところが隠居なかなか死なねえで、まだ生きている。長屋の連中はそれを死ぬ、死ぬ詐欺だと言っている
先生　ホウ、新たな手口かな、ところで、香典といえば、日本では必ず金を包む。ご祝儀でも赤白の水引の付いたものに包む。飲み会の会費の金は包むとは言わないで出すという。しかも包まれた方は必ずお返しをする。なぜかな
八　なぜかって、そんなことは昔から決まっている　手ぶらで葬儀に行くやつはいない。お返ししなきゃあ世間から笑われる
先生　昔っていつからかい
八　いつからって、昔は昔だ
先生　それは今から六千年ほど前の新石器時代と言われている時代だ。その頃から、人間は集団で暮らすようになり、社会を作った。その時からだ
八　そんな昔のことがどうしてわかるンデ
先生　それは人類学を研究している学者が調べた
八　暇な野郎が居たモンだ
先生　その一人にモースという人がいて、〝贈与論〟という本を書いた。
八　モースって、誰も申してくれなんて言ってねえ
先生　その原始の社会で、贈り物とお返しが始まり、それが慣習として定着した。
八　そんな六千年年前のことどうやって調べたのだろう
先生　今の時代にも、地球のある地域には石器時代と同じような暮らしをしている人たちの社会がある。そこは、アフリカ、南米アマゾンや、ニューギニアの奥地、北米の北太平洋沿岸などの未開地域に住む先住民族だ
八　そんなところでそんなことを調べるなんて酔狂な奴がいたモンだ
先生　そのおかげで世界の未開の社会に見られる共通の慣習や掟がわかった
八　例えばどんな？
先生　その社会には必ず贈り物と返礼の慣習がある。贈り物をされる相手は必ず受け取らなければならない。受け取ったら、必ず同等以上のお返しをしなければならないという掟がある。もし、受け取りを拒めば面倒なことになる。逆にお返しをしないと大変なことになる
八　ホウ、それが今の時代まで続いているのか？
先生　今でも　もらいっぱなしの状態では何か借りがあるような気がして落ち着かない
八　確かにそうだ。人間って不思議なものだ
先生　このことが交換、すなわちその手段としての貨幣の発生と関係があるという人もいる。また別に、ポトラッチと呼ばれる慣習も重要だ
八　なんです？そのポトなんとかテえのハ
先生　北米の太平洋沿岸の先住民族の首長などが村人を招いて盛大な祝宴をすることなのだが、富の分配の意味があるそうだ。これは結婚式、葬式などでも行われる。盛大にやるほど権威がツクので、そのために大きな散財をすることになる。今の披露宴などに当たる
八　この間の大家の倅の新築祝いも盛大だった。野郎、酒屋にでかい借金をしたにちげえネエ
というわけで、お次を楽しみに

動物たちの声になりたい　その 29

№136　にゃんこ先生

恥ずかしい環境大臣

国連気候行動サミットでの、16 歳のグレタ・トゥンベリさんの演説が話題になりました。彼女はもちろんヴィーガンです。

一方、日本の環境大臣小泉進次郎氏が、毎日でもステーキが食べたいと言いつつ渡米し、早速ステーキを食べてご満悦な写真をフェイスブックに掲載。海外メディアからも批判を受けています。

畜産が地球温暖化の原因の半分以上を占めているなかで、もっとも害の多いのが牛肉の生産。「肉を食べる人間は環境保護主義者ではない」とも言われていることを全くご存知ないらしい人が環境大臣とは…。レベル低過ぎ

アマゾンの長老の言葉

アマゾンの森林火災。原因は、森林を畑にしたい農民による放火？　大統領の規制緩和もそれに追い打ちをかけたとか…。

環境保護活動家で、ブラジル先住民族カヤポの長老ラオニ・メトゥクチレ氏の言葉を、ちょっと長いですが、以下に全文掲載します。

われわれアマゾン先住民やその指導者は長年、われわれの森に大きな損害を見たらしてきた兄弟らに警告してきた—あなたたちがやっていることは、世界を変え、私たちの家を破壊し、あなたたちの家も破壊するだろう。

われわれは団結のため、分断の歴史はひとまず脇に置いてきた。わずか一世代前、多くの部族が対立していたが、今では共通の敵と共に闘うため、われわれは一つだ。共通の敵とは、あなたたちだ、われわれの土地に侵入し、われわれに残された森の僅かな居住地さえも燃やす、先住民ではないあなたたちのことだ。

ジャイル・ボルソナロ大統領は、われわれの土地の近くの土地を所有する農場主に森を開拓するよう仕向けている。彼は農場主らがわれわれの土地に侵入しないよう手立てを講じることはない。

われわれは、あなたたちが今行なっていることをやめるように求める。地球の魂を破壊し、攻撃することをやめるのだ。木を切り倒すことは、われわれの祖先の魂への攻撃だ。鉱物を求め地面を掘ることは、地球の心臓を突き刺しているということだ。このように地球を衰弱させると、地球は死に向かう。われわれの地球が死ねば、われわれは生きてはいけない。われわれも全員が死ぬ。

なぜ、あなたたちはこんなことをするのか？発展のためだと言うが、森の豊かさを奪い、一種類の植物と一種類の動物だけに置き換えるのが発展と言えるのだろうか？かつては精霊が食料、家、薬などわれわれの幸せな暮らしに必要なあらゆるものを与えてくれたが、今では大豆と牛しかない。

なぜ、あなたたちはこんなことをするのか？多額のお金を手にするためだろう。われわれカヤポは、あなたたちのお金を「PIUCAPRIM」と呼んでいる。「悲しい葉っぱ」という意味だ。なぜなら、命のない無用なもので、害と悲しみしかもたらさないからだ。

あなたたちは、生き方を変えなければならない。何故なら、道を見失っているからだ。あなたたちが向かっているのは、破壊と死に至る道だ。あなたたちは生きるために世界を、木々を、植物を、動物を、川を、そして地球そのものを、尊敬しなければならない。なぜなら、これらすべてに魂があり、これらすべてが魂そのものだからだ。魂がなくなれば地球は死ぬ。雨が降らなくなり、植物は枯れ、死んでしまう。

われわれは皆、同じ空気を吸い、同じ水を飲んでいる。われわれは皆、この一つの惑星に暮らしている。　地球を守らなければならない。さもなければ、強い風がやってきて、森を破壊するだろう。

その時　あなたたちは、我々が感じている恐怖を感じるだろう。

口を閉ざすわけにはいきません

「肉を食べないのはあなたの自由だけれど、他の人にそれ（ヴィーガニズム）を押し付けないで欲しい」という人がよくいます。

もちろん、肉食が現在合法である以上、いくら強制したくたって強制できません。

でも、苦しんでいる命があると知りながら、「食べたい人はどうぞご自由に」、とにこやかに言うなんて私には絶対にできません。黙っているわけにはいかないのです。沈黙は容認です。

肉食をしていいことは一つもありません。逆に、ヴィーガン食をしてわるいことは一つもありません。「でも、友達をなくすんじゃない？」と言われたことがあります。うーん、友達を食べる友達…。なくしたら淋しいけど…。最近、肉を食べる人と食事を共にすることはなるべく避けたいなと考え始めました。

レクリエーションチーム企画

北国街道あるきⅨ

参加者募集

10 月 31 日（木）　小雨決行

屋代駅から篠ノ井駅まで約7㎞を皆さんと旧北国街道を探しながら歩きましょう。簡単な資料は用意しますが、道順、歴史など事前にお調べ戴き、意見交換しましょう。

✦集合場所･時刻：　屋代駅前９：30
✦帰り予定：篠ノ井発 15：56→上田着 16：25
✦持ち物：お弁当　飲み物　電車賃　雨具など必要と思われる物
✦参加費:500 円（保険代 100 円を含む）

申込期限　10 月 28 日（月）保険の関係です
参加申し込みは　ちゃーこ(河野)まで
TEL 36-4722　m-kohno0620@key.ocn.ne.jp
氏名（保険手続きのため本名で）、電話番号、年齢
当日朝の緊急連絡はちゃーこ　090-2454-3080
ちゃーこ

会報の広告欄を活用しましょう

1 年間 1200 ま～ゆで、
あなたのお店の広告が掲載されます。

会員にとって「どうせ買うなら仲間の店から」の連帯感が強まり、ま～ゆ交換が一層活発になります。

よろしく新入会員です

№435 しげこと 末広繁和

自己紹介

持続可能な社会づくりに貢献したい。

提供できるモノ・コト

省エネの出前講座

希望するモノ・コト

省エネ等のイベントを企画しています。気が向いたら参加してください

メッセージ

面白そうですね

№432 まっちゃんこと 松田和彦

自己紹介

長野大学に勤務しています。大学は今年で 6 年目自宅は埼玉の所沢ですが授業のある毎週木曜日～土曜日、時には日曜まで別所に古民家をお借りし生活しています。別所に住み始めて 3 年目。今では上田が自宅のようになっています。大学では日本の伝統的な踊りや太鼓を教え、学生たちの和太鼓サークル「和(NAGI)」とともに各種祭りやイベントで公演活動も行っています。学生たちは私を「まっちゃん」と呼んでいます。皆さんも気軽に声をかけてください。よろしくお願いします。

提供できるモノ・コト

和太鼓教えます。

希望するモノ・コト

和太鼓、餅つきの杵ほしいです。
4WD 軽トラが欲しいです。

メッセージ

できるだけお金を使わない生活を目指しています。

街の気軽なマルチメディアショップ
㈲ 伸和印刷　№57 中澤
●ご利用金額の 10%まで「ま～ゆ」をお使いください
●今、流行りの自分史を作ってみませんか?
●会議資料作りに便利な、製本機能付き
高速デジタルコピー機導入しました
上田市国分1-7-12
TEL22-7710 Fax22-7718

№436 ケンちゃんこと 池田健太郎

自己紹介

下手ですがギターを弾いて歌を歌っています。機会があれば発表したいですね。

提供できるモノ・コト

歌を歌います
サッカー解説
怪談
簡単な日本刀の説明
魚釣り

№437 綾ちゃんこと 小林綾子

自己紹介

みんなで集まって楽しくできることが大好きです。人と人のかかわりで新しい絆が生まれること、新しいものが生まれることに協力出来たら素晴らしいなと思っています。

提供できるモノ・コト

ハーブに関するワークショップ
歌やギター

№438 ヤマチャンこと 山本益郎

自己紹介

自分にできることは何でもやります
天下の仕掛人

提供できるモノ・コト

中国語、 お好み焼きができます（大阪式）

希望するモノ・コト

ま～ゆの行事を必ず連絡してください
ほかの団体との日程の重なりがあるので

メッセージ

市民力を強化すればどんなこともできることを信じています

№439 市川奈津子

自己紹介

九州に16年住んだ後横浜で 1 年過ごしたのち U ターンで上田へ来ました。農家さんに弟子入りして無農薬、無化学肥料栽培を学んでいました。

提供できるモノ・コト

農作業のお手伝い。

希望するモノ・コト

上田のことを学びたいです。

№440 なずなこと 谷口博紀

自己紹介

東御市の出身で大学卒業後は上田に在住しています。農学が専門で 6 年間上田市の予備校で生物学の講師をしていました。2019 年 4 月より家業の建材業を継ぐために家業を手伝いながら日々頑張っております。

提供できるモノ・コト

① 中学、高校、大学受験の相談、理数系の大学入試教育
② 建材業（アルミや木製窓、フェンスやカーポート等の外構工事）などの相談(下積みですが頑張っています)

希望するモノ・コト

いろいろなお話を伺って見聞を広めたいです。
（人生・社会・環境・建築など）

メッセージ

若輩者ながら皆さんと仲良くしていただければ嬉しいです。ま～ゆの一員としてこれからよろしくお願いします。

俳句

合歓咲いて 我は米寿と なりにけり
夕立も おさまり 古きテープ聴く
No. 158 うえのさん

八月の句
入道雲 大男らの カこぶ
九月の句
蝉の声 夏惜しむらし より高く
No. 130 ヒデさん

18周年 総会&ま～ゆまつり

11月10日(日)

午前10時～午後3時30分

会場は 西部公民館

※ 詳細は案内チラシをご覧ください。

12月のま～ゆ市は

10日(火) 夜 7時～

中央公民館で

編集中に思ったこと

都々平

スウェーデンの少女グレタ・トゥンベリさんが“気候変動サミット„で「私たちを失望させる選択をすれば、決して許さない」と演説したニュースに私は衝撃を受けました。Tomorrow の映画を見た 1 か月後です。

彼女の訴えは切実で、躊躇(ちゅうちょ)することなく便利さと快適さを享受している暮らしのスタイルを“今日から変える覚悟„をしなければ、次代を担う世代に申し訳が立ちません。

今年もまた自然災害に襲われ、甚大な被害を受けました。台風 19 号の恐怖は記憶に新しいところです。「人類の身勝手な金力・権力・戦力への傾倒」が地球環境を激変させている要因であろうことは火を見るより明らかです。

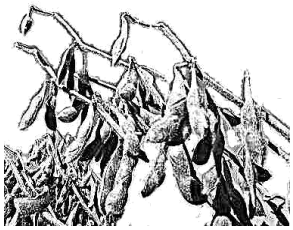
待ったは許されません。少々の不便さだって我慢できないことはないはず。Tomorrow から得たヒントを実行に移してみませんか。「じゃ、お前はどうなんだ? 」と詰問されることを承知で偉そうに書いてしまったことをお許しください。

味噌プロジェクト

大豆の収穫と脱穀

11月中旬を予定しています

天候の様子を見て
メールでお知らせ
しますから
見落としの無いよう
ご留意ください



予 告　12月22日(日)

餅つき大会

詳しくは来号を
ご覧ください
(ご意見を
お寄せください)

会報に携わった人

- 編集長　前田光俊
- 記事　安井啓子・佐藤妃七子・前田光俊
- イラスト　竹内紀子(カット)
  斉藤慈生(いつき)・唯結(ゆゆい)(表紙)
  前田光俊 (似顔)
- 写真　竹内秀夫・佐藤妃七子・孟晗
  前田光俊・
- 校正　竹内紀子・古川幸子・安井啓子
  前田光俊・前田美枝子

代 表　安 井 啓 子
ま～ゆ 連絡先　前 田 光 俊
〒386-0041 上田市 秋和 503-6
TEL 27-1230
ホームページ http://mayu.lolipop.jp/santo/